

玄覚の言葉。。。

貴方は想像出来るでしょうか？

慈善救済を心に抱き、遠い他国へ来て、その国の習慣も、国民の性質も、彼らの望んでいる事も学ぼうとする些かの試みもなしに、50年住み着いていることを。 今日まで貴方を支持し、養って来たこの国の人々の犠牲の上に、故国の習慣、態度を維持し高揚している事を、貴方は想像出来るでしょうか。そして、この50年を振り返ってみて、貴方の初心、慈善救済の志はねじ曲がり、跡形も無くなり、貴方を助けた人々への恩を忘れ、さらに悪い事には、無能なオベッカ者を取り立てている。

50年の慈善救済の志は灰塵と化したにも関わらず、貴方は今も弁明し、我が身の高揚を試みている。

釈迦牟尼仏陀は、35年間、些かも信心家ぶらず、各国をあまねく歩き、あらゆる背景の人々の必要に応じて教え説き続けました。 私の知る限りでは、彼はすべての人を絶対に軽視しませんでした。 彼は、ひたすら慈善救済が何であるかを説き、悪意を恐れませんでした。 想像するところ、一部の人々の反感は避けられませんでした、これは生きゆくことの自然摂理です。 それでもなお、彼の遺産は、春のための滋養となりました。 彼の慈善救済の精神は残り、保護の必要も、高揚の必要も、巧みに誤摩化す必要もないのです。

貴方は、榮譽欲しさと、自らの高揚のため、力量を宣伝する事に夢中です。 なんと妙な事ではありませんか。

愚説を一言。

2011年2月4日 午前10:15分